

2023（令和5）年度
事業報告書

1.全体状況

社会福祉法人博朋会は、福祉サービスを必要とする方が心身ともに健やかに生活され、社会・経済・文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会を創出し、その環境、年齢及び心身の状況に応じて、必要なサービスを提供することを目的として、平成17年度に開設致しました。

開設より18年を迎えた令和5年度は、長かったコロナウイルス感染症による影響が薄れてまいり市中におきましてはコロナ禍前の状況にほぼ戻っております。しかしながら完全に終息したわけではありませんし、介護施設という性格上、引き続きクラスターの発生等、感染者が出ないよう対策を万全にし、入居者様へ接していきたいと思っております。入居差様よりパーティションの撤去・マスクの着用に関し撤廃希望の声がありますが感染対策継続をお願いしております。

施設経営に関しまして、特定施設において平均年齢の高さから老衰や病気のためお亡くなりになられる方が前年度から続いておりまして介護度の高めの方の退居による介護報酬減が見られません。空室のままですと収入に対し影響が大きいので早期の新規入居者受け入れに努めていますが介護度が高めの入居希望者がおらず苦勞しております。補助金額に関わる月初日の入居者確保のため、入居者紹介業者の利用も合わせ早期の満床を目指してまいります。

介護現場での人材不足が慢性的になっており正職による夜勤勤務が続く等負担が大きくなっており早急な補充が急務となっております。引き続き応募活動を強化し介護スタッフの安定化を図りたいと思っております。

厨房職員に関しましては新しく管理栄養士と調理補助の方が入職し、一時期に比べ補充が進みました。諸般の世界情勢による燃料費や食材費の値上がり止まらず給食費が増加継続しております。業者の見直しや献立の工夫など経費削減に繋がる対応を今後も続けていきたいと思っております。

2.入居状況

①入居数統計（3/31 現在）

1) 階別入居者数

25/26名（96%）

| 特定 | | 3階 | 4階 | 5階 | 6階 | 計 |
|------|---|----|----|----|----|----|
| 入居者数 | | 6 | 6 | 6 | 7 | 25 |
| 男女比 | 男 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 |
| | 女 | 6 | 5 | 6 | 6 | 23 |

32/32名 (100%)

| ケアハウス | | 7階 | 8階 | 9階 | 10階 | 計 |
|-------|---|----|----|----|-----|----|
| 入居者数 | | 8 | 8 | 8 | 8 | 32 |
| 男女比 | 男 | 0 | 1 | 1 | 2 | 4 |
| | 女 | 8 | 7 | 7 | 6 | 28 |

2) 年齢別 (歳)

| | 60~64 | 65~69 | 70~74 | 75~79 | 80~84 | 85~89 | 90以上 | 計 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|----|
| 男性 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 4 | 0 | 6 |
| 女性 | 0 | 0 | 4 | 5 | 6 | 19 | 17 | 51 |
| 計 | 0 | 0 | 4 | 7 | 6 | 23 | 17 | 57 |

| | 最低年齢 | 最高年齢 |
|----|------|------|
| 男性 | 75 | 89 |
| 女性 | 72 | 106 |

②月別入居者数 (各月初 統計)

| | 特定 | | ケアハウス | |
|-----|----------|---------|----------|---------|
| | 入居者数 (人) | 入居率 (%) | 入居者数 (人) | 入居率 (%) |
| 4月 | 24 | 92 | 32 | 100 |
| 5月 | 26 | 100 | 32 | 100 |
| 6月 | 25 | 96 | 32 | 100 |
| 7月 | 25 | 96 | 31 | 96 |
| 8月 | 25 | 96 | 32 | 100 |
| 9月 | 25 | 96 | 32 | 100 |
| 10月 | 25 | 96 | 32 | 100 |
| 11月 | 26 | 100 | 32 | 100 |
| 12月 | 25 | 96 | 32 | 100 |
| 1月 | 25 | 96 | 32 | 100 |
| 2月 | 25 | 96 | 32 | 100 |
| 3月 | 25 | 96 | 32 | 100 |
| 平均 | 25.1 | 96.5 | 31.9 | 99.6 |

③介護サービス利用状況（3/1 現在）

1) ケアハウス入居者の要介護度

| | 自立 | 要支援 1 | 要支援 2 | 要介護 1 | 要介護 2 | 要介護 3 | 要介護 4 | 要介護 5 | 合計 |
|---------|----|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----|
| 対象者数(人) | 13 | 7 | 6 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 32 |
| 入居者比(%) | 40 | 22 | 19 | 19 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 |

2) 特定施設入居者の要介護度（予防含む）

| | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 合計 |
|---------|------|------|------|------|------|------|------|-----|
| 対象者数(人) | 1 | 3 | 8 | 3 | 2 | 6 | 2 | 25 |
| 入居者比(%) | 4 | 12 | 32 | 12 | 8 | 24 | 8 | 100 |

3) 利用サービス（ケアハウスのみ、複数利用あり）

| | 利用者数(人) |
|----------|---------|
| 居宅介護支援 | 15 |
| 訪問介護 | 12 |
| デイサービス | 5 |
| デイケア | 5 |
| 福祉用具レンタル | 6 |
| 福祉用具購入 | 6 |
| 住宅改修 | 0 |
| 合計 | 49 |

④事務費階層別（3/1 現在）

| | 事務費 | 人数(人)ケア | 事務費 | 人数(人)特定 |
|----|----------|---------|----------|---------|
| 1' | 7,000 円 | 0 | 7,000 円 | 0 |
| 1 | 10,000 円 | 16 | 10,000 円 | 11 |
| 2 | 13,000 円 | 0 | 13,000 円 | 0 |
| 3 | 16,000 円 | 1 | 16,000 円 | 0 |
| 4 | 19,000 円 | 1 | 19,000 円 | 0 |
| 5 | 22,000 円 | 0 | 22,000 円 | 1 |
| 6 | 25,000 円 | 2 | 25,000 円 | 2 |
| 7 | 30,000 円 | 0 | 30,000 円 | 2 |
| 8 | 35,000 円 | 3 | 34,900 円 | 1 |
| 9 | 40,000 円 | 2 | 34,900 円 | 2 |

| | | | | |
|-------|----------|-----|----------|-----|
| 10 | 45,000 円 | 1 | 34,900 円 | 1 |
| 11 | 50,000 円 | 1 | 34,900 円 | 1 |
| 12 | 57,000 円 | 1 | 34,900 円 | 0 |
| 13 | 64,000 円 | 0 | 34,900 円 | 1 |
| 14 以上 | 64,300 円 | 4 | 34,900 円 | 3 |
| 合計 | | 3 2 | | 2 5 |

3.事業報告

①入居者が気持ち良く安らかに生活していただけるよう、環境を整える。

・ 衛生・清潔

職員により、食堂・浴室・共用トイレやロビー等共用部分の清掃を行うようにしている。厨房や食堂は業者による害虫駆除、厨房機器の保守点検を引き続き行った。

レジオネラ対策としては、循環風呂の水抜きと浴槽内の清掃を週 1 回、高濃度洗浄は 1 カ月に 1 回行っている。残留塩素の測定をし、塩素濃度を一定に保つようにしている。又、年 1 回業者によるポンプや循環器の点検作業を行っている。

新型コロナウイルスが継続しており感染防止の観点から施設内への立ち入りの制限や、マスクの着用・手指消毒・手洗い・うがいの徹底を促し、館内消毒も職員で手分けして行い、感染防止に徹した。単発での感染者は発生しましたがシクスターは発生していない。

・ 点検

入居者に安全にご利用していただく為に、巡回時や清掃時に破損故障箇所がないか点検を行い、エレベーターや消防設備等は業者による定期的な点検を行った。

特に、エレベーターには遠隔監視を導入し、24 時間遠隔で、エレベーターの安全管理ができています。

建物の点検につきましても特定建築物等に指定されておりますので定期報告書を年に一回福岡市へ提出しております。

②ADLの低下が著しい入居者が増えてきており、介護認定の取得ならびに外部サービスの導入を促す声掛けを行う頻度が増加。さらに介護付きの特定施設に空室が出た際は移動の声掛けを行っている。

・ケアハウス入居者は、体力面の低下が顕著になってきている為、食事時の見守りを通し、体調や心理面で不安などを伺い、必要に応じ居室への訪問・巡回、話の傾聴等を強化している。

・特定施設入居者へは、入浴前に看護師によるバイタル測定を行い健康管理に配慮し、本人が希望されない場合は入浴を強要せず本人の希望に添うようにしている。又、歯科医による往診があり、歯科衛生士による口腔衛生管理に努めている。

・介護職員は状態が日々変化する入居者と深くかかわり、看護職員、機能訓練指導員、ケアマネージャーとの協力体制のもと、入居者の状態変化など早期発見に努めている。

・その他、訪問医による往診時に必要な情報を提供し、受診介助が必要な方に対しては受診同行を行い、主治医やご家族、介護サービス事業所、居宅介護支援事業所との連携を図っている。

③入居者に満足していただける食事を提供する。

・栄養管理

食事基準を作成し、入居者の摂食状態や病状等の特性を個別に把握し、食事を提供している。食事が入居者の健康維持・増進の支援、生活の質の向上に繋がるよう心がけている。

・献立作成

献立は季節の食材、旬の食材を用いている。

行事食は、普段の食事には使わない特別な食材を取り入れることもあり、手作りのメッセージカードをつけている。

また、調理者の意見やアンケートによる入居者の意見を取り入れ、商品の変更や新たな食材を取り入れるよう変化に富んだものになっている。

令和5年度行事食一覧

| 月 | 行事食 |
|-----|-----------------|
| 4月 | 花まつり膳、お花見弁当 |
| 5月 | 憲法記念日、端午の節句 |
| 7月 | 七夕 |
| 8月 | ステーキ膳 |
| 9月 | 敬老の日、秋分の日 |
| 11月 | 文化の日、勤労感謝の日 |
| 12月 | 冬至、クリスマス、大みそか |
| 1月 | お正月祝膳、七草粥 |
| 2月 | 節分、建国記念日、バレンタイン |
| 3月 | ひなまつり、春分の日 |

・食事提供状況

入居者の身体状況、生活習慣、治療状況に合わせた調理形態（一口大、きざみ、ミキサー、ソフト）で提供している。

介護スタッフと連携をとり、病状の考慮や、嗜好等の対応、服薬に伴う禁止食品の対応を行っている。また、選択メニュー制度を取り入れ、入居者に食事を選んでいただけるようにしている。

・入居者の意見の反映

入居者の意見が食事内容に反映されるようアンケート形式で嗜好調査を行っている。

食事意見箱を設置し、いつでも意見をいただける状況にしている。また、入居者から直接意見をいただくこともある。これらの食事評価は、厨房内で共有し、よりよい食事提供に繋がるように生かされている。

- ・衛生管理

厨房内の衛生管理に関してはチェック表を作成し、実行している。夏場やノロウイルスの流行時期には特に意識を高めている。また、衛生管理に関する研修会にも積極的に参加し衛生管理の徹底に努めている。近年はコロナウイルス対策も徹底している。

- ・料理レクリエーション

食を通じた日常生活での変化をもつていただくためバーベキューを行っており、感染症が流行した際はステーキ膳での提供とていましたが本来のバーベキュー方式へ戻し焼き立てのお肉を提供し気分転換を含めいつもと違う食事形態を楽しんで頂いた。

コロナ禍の影響で規模縮小や中止となっていた行事等を平時の状態へ戻し再開する事を目標とする。

- ・介護スタッフとの連携

給食会議を行い積極的な意見交換を行い、業務の改善や満足度の向上に努めている。

- ・非常食への取り組み

大規模災害等による避難生活を見据え、備蓄している即席麺や缶詰による食事提供も年に一度行っている。無洗米の備蓄も開始し少しずつ備蓄量増加に努める。

④入居者が快適に生活していただけるよう、各種サービスを提供していく。

- ・ 移動美容室・各種売店・買い物代行

以上の項目について、サービスを手配している。

移動売店は、聞き取りによる注文形式と対面による販売を併用して対応中。外部への買い物は荷物の持ち運びも大変なので移動販売は入居者にとって欠かせないものとなっている。

⑤四季折々の行事を開催し、入居者の方に季節感を味わって頂く。

2023（令和5）年度行事

| | 行事名 | 内容 |
|-----|----------------|-------------------------------------|
| 4月 | お花見 | 感染症対策をしながら桜を見ていただくお茶とお菓子を提供 |
| 5月 | 菖蒲湯 | 浴室に花ショウブを飾る |
| 6月 | 外出行事（特定） | 入居者それぞれの希望の場所へ（一部未実施） |
| 7月 | 七夕 外出行事（糸島） | 笹に短冊を飾り写真を撮影 海を見ながらの食事、伊都菜彩での買い物 |
| 8月 | ステーキ大会 | ステーキを焼いて提供 |
| 9月 | 敬老祝賀会 | 敬老会の開催は見送り記念品およびお花をお渡しする。祝電掲示。 |
| 11月 | 外出行事（特定） | 可能な方のみ希望の場所へお連れする |
| 12月 | 餅つき ゆず湯 | 数年ぶりに餅つき行う 浴槽にゆずを浮かべ、季節を味わう |

| | | |
|----|------------|---|
| 1月 | 元旦 新年会 | 食堂に新年飾りをし、お屠蘇で乾杯 福引、鏡開き（ぜんざい）、カラオケ大会 |
| 2月 | 節分 外出行事 | スタッフが鬼役で豆まき いちご狩り |
| 3月 | ひな祭り | 雛飾りおよび甘酒の提供、チェロ・オカリナの演奏会 |

ビハーラカフェ

月1回、地域とのふれあいを目的とした地域カフェですがコロナ禍以降開催を見送っております。もうしばらく様子を見て、今後体制を整えば再開の方向で検討する。

開設して18年目を迎え、コロナ禍も随分落ち着いてきた中、可能な限り毎月の行事を計画し開催した。数年間中止していた行事も徐々に再開し少しずつではありますが平常時に戻りつつあります。特定施設とケアハウスの入居者の身体状況に差がある為、行事によっては分けて開催し、一緒に出来る行事は一緒に行い交流を図った。入居者も職員も一緒に楽しめた部分も多かったように思える。

ケアハウスでは時間制限は設けてありますが家族との居室内での面会も再開されたようにコロナにより制限のあった生活は徐々に平時へと戻りつつあります。次年度は更に再開が可能となると思われるので開催可能な行事を増やし気分転換やストレス軽減に少しでも貢献出来るように行事企画をしていきたいと思っている。

特定施設ではそれぞれの身体能力に差があり、個々の希望を取り入れ、ニーズに合わせての買い物、カフェでのお茶等、それぞれに合った形で楽しんで頂くよう工夫していく。

新しく入居された方も多いため皆様が参加したくなるような企画を今後も様々な観点から考え、より多くの参加を目指し開催したい。

地域社会との交流についても、月一回の中央保育園園児作成の作品受入れが保育園スタッフおよび園児の皆さんによる協力のおかげで継続ができた。

⑥入居者とスタッフ間の信頼関係がより強固な人間関係をつくります。

・入居者への声かけ

スタッフから積極的に声かけ行ない入居者の抱える問題を早期に発見するように努めた。

隠れたニーズの対応のために、意見箱を玄関受付横に設置し、意見があったときは月に一回の職員会議で議題として取り上げ、回答するようにしている。早急に対応すべき要望については、その都度話し合いを行い、対処していくようにしている。

・明るい挨拶

朝晩の挨拶はもちろん、入居者の外出の際でも「行ってらっしゃい」、「おかえりなさい」など全スタッフが挨拶できるように気をつけ、入居者の方が気持ちよく過ごせるように、また入居者の変化により早く気付けるように気をつけている。特定入居者、ケア入居者にかかわらず、スタッフ全員で見守ることが出来るようにしている。

職員研修状況

令和5年4月～令和6年3月

| 月 日 | 研 修 名 | 参加人員 |
|------|-----------|------|
| 2/28 | 認知症介護基礎研修 | 1 |
| 3/3 | 認知症介護基礎研修 | 1 |
| 3/12 | 認知症介護基礎研修 | 1 |
| 3/23 | 認知症介護基礎研修 | 1 |
| | | |

4. 理事会・評議員会開催状況

| 月 日 | 内 容 |
|---------------------|--|
| 6/7 第1回 理事会 | <ul style="list-style-type: none"> ・職務実行状況報告 ・令和4年度事業報告について ・令和4年度計算書類及び財産目録の承認について ・定時評議員会日時・議案について ・福岡市指導監査報告 他 |
| 6/22 第1回 評議員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・職務実行状況報告 ・福岡市指導監査報告 ・令和4年度事業報告について ・令和4年度計算書類及び財産目録の承認 |
| 3/26 第2回 理事会 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度事業計画(案)について ・令和6年度予算(案)について ・その他現況報告 |

5. 令和5年度 福祉サービスに関する苦情・相談等

・令和5年6月 懇談会における質疑応答に関し数名の入居者より苦情。内容は毎年同じような、くだらない質問が続けられるのが耐えられないとの内容。

——▶ 次の開催時、質疑応答は希望者のみの参加とした結果、数名しか残らず入居後初めての参加者は困惑され、進行も非常に寂しいものとなり会の意義にも影響すると思われたため次回は全員参加形式に戻しての開催予定。苦情への対応としては次回の懇談会の様子を踏まえた上で改めて対応策・解決策を模索していく事とした。

- ・令和5年8月 特定スタッフがお風呂の準備をする際バンバン大きな音を立てる、食事の台車をエレベーターへ乗せる際大きな音を立てるなどの苦情。
 - ▶ 職員会議にてスタッフ全体へ、自分が思うよりも周りは大きな音と捉える事もあるので一つ一つの行動の際には極力消音に努めるよう注意喚起行う。

- ・令和6年1月 入居者より欠食届の書式について以前と同じ方法にしてほしいとの苦情。合わせて変更等する際、お願いできますか？協力して頂けないでしょうか？ではなくこうしますからと一方的であるとの苦情。
 - ▶ この入居者は懇談会で他の入居者が苦情を言っている方であり、普段からケアスタッフとのやり取りで問題が多々あり、警察沙汰にや裁判に等の発言をされたり、大声をあげたりする方である。今回の苦情についても説明してありご自身の都合のみによるものであるため苦情として扱わず、警察や市へ通報するなり、裁判起こすなりして頂いて構わないとお伝えする。その後は納得されてはいないと思いますが欠食届の変更受け入れ、新様式にて記入頂いている。

- ・令和6年3月 浴室で毛染めをしている人がいるとの苦情。
 - ▶ 声掛け・貼り紙をし、周知行う。